

一生付き合える存在。姉妹のように信頼し合い、

師弟関係でありママ友である、魚谷香織選手と小池礼乃選手。うれし泣きの出会いから、仕事と家庭を両立する女性レーサーとしてお互いに支えになっていること、初勝利、初優勝の思い出まで、さまざまなエピソードを繰り広げてもらった。



インタビュー・サカイスト伝ペー



魚谷 香織

4347 ウオタニ カオリ
1985年4月26日生まれ
身長／155cm 体重／46kg
山口県出身 福岡支部所属

4764 コイケ アヤノ
1990年5月17日生まれ
身長／156cm 体重／48kg
福岡県出身 福岡支部所属



お二人が師弟関係になつてどのくらいになりますか？また、出会ったきっかけを教えてください。

魚谷 もう15年になるのかな。長い付き合いなのではつきり覚えていないくで（笑）。出会いは、私が大和の訓練所に教わに行つたときです。礼ちゃんが私を知つてくれていて、会えたのをとても喜んでくれたんです。

小池 それはもう憧れでしたから、一人になるタイミングを見計らい、用意していた手紙を渡しました！

魚谷 その手紙は今も持っていますよ。感極まって泣いてくれたんですよ。

小池 姉弟関係になつたのはどのくらいですか？

魚谷 デビュー節が終わつたあと、魚谷選手に会つていただきました。先輩たちも、師弟関係は成長のためになつて後押ししてくれたんです。勇気を出してお願いしました。

小池 デビュー節が終わつたあと、魚谷選手に会つていただきました。先輩たちも、師弟関係は成長のためになつて後押ししてくれたんです。勇気を出してお願いしました。

小池 私の師匠である原田篤志選手や夫（青木幸太郎選手）にも相談はしましたが、すぐに引き受けました。師弟関係は、レースはもちろん人間性も合う合わないが大事で、家族のような気持ちがないと上手くいけませんが、礼ちゃんとは一生の付き合いができると思ったので。

魚谷 私たち特殊な仕事なので、子どもを持つボートレーサーとして、同じ悩みや気持ちを分かち合える心強い存在です。毎日家に帰れるわけがないから、子どもとの関わり方とか、家族の中での自分の気持ちのあり方とかをよく話しています。

小池 技術よりも「考え方」ですね。最初の3年間は厳しくしてきた部分もあるんですが、同じレースのとき、私の中で「もう大丈夫だ」と確信できた瞬間があつて。それでも礼ちゃんは頑張っているのだけど、何か方向が違う気がしていまして。少し見方を変えてみようと言つてきたのが、伝わつたんだな、と思いましたね。

魚谷 当時は、目の前のこととどこで、その延長線でママ友にもなつたというか姉妹のように接しているのを感じですね。原田選手もお兄子どもが生まれる前から友達といふり関係性を見ちやいますからね。

魚谷 子どもが生まれる前から友達といふり関係性を見ちやいますからね。ママ友としてはどうですか？

魚谷 ボートファンからすると、やっぱり関係性を見ちやいますからね。ママ友としてはどうですか？

魚谷 子どもが生まれる前から友達といふり関係性を見ちやいますからね。ママ友としてはどうですか？

魚谷 締切から全部見ていましたよ。フライングがなければ優勝するのは分かつていただけれど、何だかんだ、礼ちゃんにとつては長かったのかな、とか色々な思いが駆け巡つて、レースの途中で泣いていました。

魚谷 いい師弟関係ですね。同期に関してはどうですか？

魚谷 私たち96期（キュークロク）にも上手な人がいっぱいいます。皆優しくて、特に飯田佳江選手とは仲がいいで

りたいなら、今これを頑張らなきゃいけない」と明確になつて、自分でも成長できた感覚があります。

魚谷 礼ちゃんが持つているものはとても素晴らしい、私も色々と勉強させてもらつています。考え方があまりに良かつたですし、今の選手は与えられたペラで乗らないといけないけれど、私たちのときは持ちペラで、原田選手が作つてくれたのではそれは自信がありました。じゃあ、あとが魚谷選手のいいところですね。デ天才レーサーでもあります、どんな気持ちでしたか？

魚谷 や、あれはツイいていたんですけど本当に二節目だったんですね。引いたエンドンも良かつたですし、今の選手は与えられたペラで乗らないといけないけれど、私たちのときは持ちペラで、乗るだけだと。試運転もめちゃ

が魚谷選手のいいところですね。デ天才レーザーでもあります、どんな気持ちでしたか？

魚谷 いや、あれはツイいていたんですけど本当に二節目だったんですね。引いたエンドンも良かつたですし、今の選手は与えられたペラで乗らないといけないけれど、私たちのときは持ちペラで、乗るだけだと。試運転もめちゃ

が魚谷選手のいいところですね。デ天才レーザーでもあります、どんな気持ちでしたか？

魚谷